## 一人ひとりのかがやきを見つめて

12 月を迎え、今年も残すところあと少しにな りました。朝夕は冷え込みますが、日中、晴れた 日には、陽だまりの暖かさを感じながら園庭で遊 んだり、山や海に散歩に出かけ、新しい発見にわ くわくしている子どもたちです。

先月行われた「こやうらっこ わくわく広場 ~みて ふれて かんじて~」では、子どもたち と保護者の方の笑顔で、園全体が和やかな雰囲気 に包まれていました。昨年と違って今年は、園庭 で子どもたち、職員、保護者の方、戸川先生と一 緒に作ったピザ窯でピザを焼いて食べたり、「ライ ブペイントパフォーマンス」を楽しみました。「ラ イブペイントパフォーマンス」では、子どもも保 護者も職員も一緒に楽しさを共有したいという思 いで、音楽の流れる空間で人を感じながら、絵の 具で描くことを楽しみました。戸川先生(絵本造 形作家)と一緒に大人も子どもも、いい表情で筆 を動かしていました。子どもたちは、自分の好き なこと、夢中になっていることを「みてみて!こ れはね・・」と説明したり、自分たちが考えて作 った世界観の中で、保護者の方と一緒に遊ぶ経験 をしたことで、意欲、自信につながったと思いま す。「こやうらっこわくわく広場」開催後に行った アンケートの中には、「子どもも大人も、一緒にな って大きなアートを完成させたり、ピアノの生演 奏を聴きながら、ピザやスープをおいしくいただ いたり、日頃の保育園での活動をしっかり感じる ことができた「「子どもたちが、どういう思いで作 ったのかが、見てわかる展示方法で、とても良か った」「全クラスの展示が見られるので、作品のク ォリティーもそれぞれ違っていて、こんな事もで きるようになるのかと、楽しみもできてよかった」 などのご感想をいただきました。 AND CONTROL OF THE STATE OF THE

子どもたちの遊んでいる姿を通して、保護者の 方々に関心をもっていただいていることや、「絵の 具あそびが好きなんだ」など、わが子が好きなこ と、見えてなかった姿を発見していただけたよう に思います。また、わが子以外の子どもの姿を通し て何年か後には、こんなことができるようになる のかなという見通しを持っていただけたことを感 じ、嬉しく思いました。一人ひとりのいいところ、 得意なことを見つけ、それを存分に楽しむことの できる環境の中で、いいところを伸ばしていける のだと思います。そして、そこに大人が関わってい くということが大切です。一つのことに、みんなが 興味を持つ場合もあれば、興味関心の対象がそれ ぞれ違う場合もあります。好きなことをしている ときの表情は輝いていますし、集中して取り組ん でいます。

3・4・5歳児クラスの子どもたちは、好きなこ との楽しさを友だちに伝えようとしたり、楽しさ を共有しようと関わろうとします。大人から認め てもらうことはもちろん、友だちから「すごいね」 と褒められることも子どもたちの自信となりま す。0・1・2歳児クラスの子どもたちは、興味の あるものに近づいていき、触って確かめて試した りしながら遊び始め、楽しいことや好きなことは 繰り返し遊びます。その中で大人に視線を向ける 瞬間を見逃さず、大人が「みてるよ、たのしいね」 と見守ったり、笑顔でうなづくことで安心して遊 び、またやってみようとチャレンジするのです。0 歳児の頃から、あそびの中でたくさんのことを学 んでいくうち、就学を迎える頃には自分で考え、主 体的に行動できる子どもになると思います。保育 園で過ごす乳幼児期が子どもたちの未来へつなが っていく大切な時期なのだということを意識しな がら、子どもたちへの関わり方、環境の準備などを 工夫していきたいと思います。



## ぺったん ぺったん おもちつき

餅つきの由来は、奈良時代の記録 によると「伊勢神宮などに鏡餅が備 えられていた」と書かれています。 餅を食べる習慣は、武家の年中行事 が商家へと伝わり、商家から農家 へ。農家では、神仏や農具に餅を供 え、豊作と家内安全を祈ったそうで

保育園では、20日(水)にお餅 つきをして、お正月の準備をしま す。詳細については、後日きっずノ ートで配信します。

## 年末・年始のお休みについて

12月29日(金)~1月3日(水)ま で長いお休みになります。ついつい夜更か しや食べ過ぎになりがちですが、「早寝・ 早起き・朝ごはん」の毎日の生活リズムを 崩さないように心がけましょう。

新年は、1月4日(木)から通常の保 育となります。この日は愛情弁当の日で

年少さんは手綱こんにゃく 最初は難しいって思ったけど

ブロッコリーができました



年長さんは大根と人参を 切ったよ。

人参は かたかったよ